

TOPICS 3  
トピックス

市財政情報発信キャラクター「いばら騎士」と  
平成29年度決算の概要を見よう

問財政課 ☎ 620・1612



オレンジ グリーン レッド ブルー

【一般・特別会計の決算状況】

平成29年度決算が9月市議会で認定されたよ。平成29年度も厳しい財政状況の中、「財政の健全性の確保」に努めるとともに、「市民サービスの充実」を図ったんだ。

決算って、みんなが納めた税金をどう使ったか（左下枠参照）をまとめたものだよ！どんな状況だったの？

主に福祉、教育などの市民サービスを行うメインのお財布が「一般会計」で、保険料等の特定の収入で保険等の事業を行うお財布が「特別会計」やんな。

そのとおり。平成29年度も全会計で黒字になったよ（表1参照）。

【財政健全化判断比率】

黒字ってことは、茨木市の財政は健全ってこと？

実は健全かどうかをチェックする「財政健全化判断比率」という指標があって、信号に例えると、「早期健全化基準」より大きい数値になると黄色信号、「財政再生基準」を超えると赤信号、つまり財政は危険ってということなんだ（表2参照）。

茨木市は全項目で青信号かぁ。

【経常収支比率・ビルド&スクラップ】

そうだね。グラフ1も見て。市債（借金）の残高も減らすことができたんだ。次にグラフ2では「経常収支比率」を示しているんだ。財政の余裕度を表す数値で、低いほうが財政に余裕があるんだ。

茨木市って、府内平均の数値よりも低い状態をずっと保っているから、余裕がある状況なのかぁ…。

余裕があるなら、どんどんビルド（サービスを充実）するのだ！

ちょっと待ってや!! 経常収支比率は上昇傾向にあるし、サービスの充実には、既存サービスの見直し（スクラップ）を図るビルド&スクラップを忘れたらあかんで！

そうか！茨木市はビルド&スクラップに取り組むことで厳しい財政状況を「やりくり」しているんだったね。

そのとおり！将来にわたって市民サービスの充実を図っていくため、これからも「やりくり」に努め、「次なる茨木」に向かっていこう!!

表1 一般・特別会計別決算(億円)

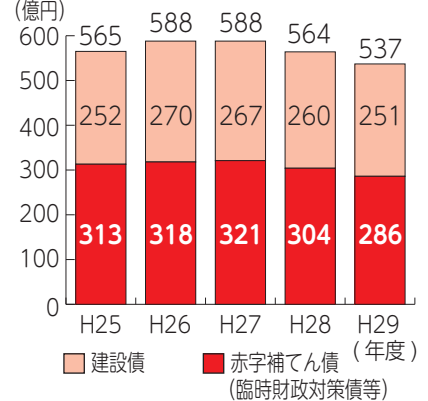
会計	一般会計	特別会計			
		財産区	国民健康保険事業	後期高齢者医療事業	介護保険事業
歳入	888.7	51.6	325.1	38.2	175.6
歳出	872.1	0.9	316.4	36.8	172.3
繰越	7.2				
差引	9.4	50.7	8.7	1.4	3.3

差引=歳入-歳出-繰越(繰越=翌年度に繰り越す財源)

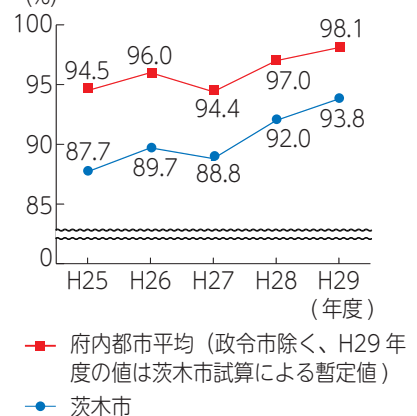
表2 昨年度決算に基づく  
財政健全化判断比率(%)

	比率の説明	茨木市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	一般会計の赤字の割合	赤字なし	11.25	20.0
連結実質赤字比率	一般会計、特別会計等の全ての会計の赤字の割合	赤字なし	16.25	30.0
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合(比率は3か年の平均)	-3.5	25.0	35.0
将来負担比率	借金残高等の将来負担が見込まれる債務の割合	-45.8	350.0	
資金不足比率	公営企業ごとの資金不足額が事業規模(料金収入)に占める割合	不足なし	20.0	

グラフ1 市債(借金)残高の推移



グラフ2 経常収支比率の推移



平成29年度歳出決算額の内訳(市民一人当たり)

- ①福祉の充実 144,500円
- ②道路・公園等の整備 41,600円
- ③教育の推進 36,200円
- ④ごみの処理や医療の充実等 23,900円
- ⑤庁舎管理、戸籍・住民票の管理等 20,500円
- ⑥借金の返済(借換債除く) 17,300円
- ⑦その他 25,800円

※歳出決算総額を市の人口で割った金額の内訳